

令和7年度第2回地域連携担当者研修会

令和8年1月21日(水)

研修 『等話』を活用した、次年度に向けてのより良い協働教育について

講師 尚絅学院大学 人文社会学類 教授 松田 道雄 氏

参加者22名



講義の後にはグループ討議を行い、それぞれの立場で協働教育についての課題や疑問、解決策を出し合いました。その際は「等話」の考え方を大切に、全員が発言している様子が見られました。



グループでの話し合い後に、自由に他のグループの意見や考えを見て回りました。今回、地域や業種の混在したグループ編成も、いつもと違って考え方の広がりにつながったようです。

【受講者の声】 ※抜粋

- ・地域にある人材という資源をどう発見、活用していけばよいか、他の先生方との「等話」を通して深めることができました。(小学校)
- ・他地区の先生や公民館の方と、地域連携の情報共有やアイデアを出し合う貴重な機会となりました。グループワークはもう少し時間があると、更に深まったと思います。(小学校)
- ・地域連携のきっかけとなる顔合わせ、顔つなぎができる貴重な機会だと感じている。一方で改善の方策を見つけ出すにはなかなか難しいかなとも思いました。(小学校)
- ・短い時間でしたが、公民館さんや小学校の先生方当の意見を聞くことができ、参考になりました。人口減少が加速化していく中で、地域の中にある学校づくりを進めていく必要性を強く感じます。松田先生の「等話」を活用した話し合いが勉強になりました。(中学校)
- ・先生方を巻き込んで、公民館の方々との連携を密にしながら、これからも子どもたちの育成に努めていきたいと思えます。貴重な研修の場をありがとうございました。(中学校)
- ・所属が違う方々からの意見を聞くことができ、大変参考になりました。地区にとらわれない班編成も良かったです。学校側との連携強化について参考になりました。ありがとうございました。(公民館)
- ・この場で話し合ったものは、この場限りとなってしまってもったいないです。他の研修会もそうですが、担当者が集まっているのであれば、本当に話し合う時間として確保した方がよいと感じます。(事前準備が必須となりますが) 今回の参加者が少ないことが残念でした。(その他行政等)